

北海道がんセンター通信

2011

第16号

NOVEMBER



CONTENTS

- 開催報告「第8回がん診療連携症例検討会」 2
- 市民のための北海道がんフォーラム
～ がん専門医と語り合う会 ～ 3
- 開催報告「北海道 がんと闘う医療フェスタ 2011」 4
- がん地域連携クリティカルパスについて 副院長 近藤 啓史 ... 6
- 開催報告「メディカルセーフター事例分析研修会」
医療安全管理係長 岡田 美栄 ... 8
- 栄養管理室の取り組み 病棟イベント「デザートの日」 9
- がん相談支援情報室にご相談下さい 10
- 診療科別外来担当医師一覧表 11
- ボランティアコンサートについて 12

北海道がんセンターの理念

私たちは、国民の健康で幸福な生活のため、最新の知識と医療技術をもとに、良質で信頼のある医療の提供に努め、特に「がん克服」に寄与することを目指します。このため、

- 1 常に、医療の質と技術の向上を目指します
- 2 研究、教育研修を推進し、医療・医学の発展に寄与します
- 3 患者さんの権利を尊重し、誠実な医療を実践します
- 4 自主自律、創意工夫の精神で病院運営に当たります

第8回がん診療連携症例検討会



当院では、平成20年1月より、年2回（1月・7月）がん診療連携症例検討会を開催しています。

この会は、がん診療連携病院、医院、施設等連携機関の先生方と、当院へご紹介していただいた患者さんの検討会を通じて交流を図ることを目的としております。

また、第4回開催分からは日頃診療連携のある病院・医院等の先生を院外講師としてお招きし、自施設の現状や当院に求める課題などの講演をしていただいております。

今回は平成23年7月開催分（第8回）放射線科の症例検討会について報告をいたします。

まずは、森 崇放射線治療科医師より「前立腺癌IMRTの2症例」の提示に続き、西山典明放射線治療科医長より「当院における前立腺放射線治療について」と題して前立腺癌における局所放射線治療の適応や照射方法の解説、強度変調放射線治療（IMRT）の適応や照射方法についてお話がありました。

つぎに、医療法人社団三樹会病院 副院長 佐藤嘉一先生より、「こんなことを考えて前立腺全摘をしています。」と題しまして、自院における前立腺がんの治療法や治療実績、QOLの評価（尿禁制・性機能）など、症例をまじえながらお話いただきました。質疑や意見交換もあり、大変有意義な症例検討会となりました。

講師の皆様



医療法人社団三樹会病院
副院長 佐藤嘉一先生



放射線治療科
医長 西山典明先生



放射線治療科
医師 森 崇先生

市民のための北海道がんフォーラム ～がん専門医と語り合う会～



10月1日当院大講堂において「市民のための北海道がんフォーラム～がん専門医と語り合う会～」と題した市民講座を開催いたしました。

今まで当院大講堂で市民向けの講座を開催する事は滅多に無かったのですが、当院の知名度が低い・・・地下鉄菊水駅の直ぐ傍にあるという立地環境にもかかわらず、どこにあるか分からないという方もいらっしゃるようで・・・、これでは、北海道がんセンターの名前すら知らない方もいらっしゃるのでは？ということで、当院で開催する運びとなりました。

講演の方は、

泌尿器科医長 原林 透先生より「前立腺がんの最新治療と診断」と題して、手術、化学療法、放射線治療の解説。最新治療と従来の治療方法との比較。早期発見の重要性からPSA検診の考え方など。

乳腺外科医長 渡邊 健一先生からは「新しい乳がんの診断と治療」と題して乳がん手術における全摘と温存、リンパ節郭清の現状。がんのタイプや遺伝子の情報を用いた選択的な化学療法のお話など。

統括診療部長 加藤 秀則先生より「子宮がんの予防・診断・治療：最新の知見と将来の展望」と題して、子宮頸がんや子宮頸部異形成を引き起こす原因の1つHPV（ヒトパピローマウイルス）や、そのワクチンのお話。子宮がん手術など治療について。

それぞれの分野でわかりやすく解説してもらいました。

パネルディスカッションでは、統括診療部長 加藤 秀則先生、教育研修部長 永森 聡先生、乳腺外科医長 渡邊 健一先生が来場された皆様の質問を受けたり、YES・NOうちわを使い全員参加の問答をしたりと楽しい時間を過ごしていただけたと思います。

今回、130名程のご参加をいただき大変盛況となりました。ご参加出来なかった皆様も次の機会にはぜひ足を運んでみて下さい。お待ちしております。

講師の皆様



統括診療部長
加藤 秀則 先生



教育研修部長
永森 聡 先生



泌尿器科医長
原林 透 先生



乳腺外科医長
渡邊 健一 先生

「北海道がんと闘う医療フェスタ2011」を開催

～ がん予防 できることからはじめよう ～



テープカットで開会です。



西尾院長・近藤副院長の講演



ウルトラクイズで
がんの知識を高めよう。



司会は井須先生



PSA当たれ～!!

各種体験コーナー



頸動脈エコーを
当ててみますか？

無料検診 ・測定コーナー



手の洗い残し無いですか



肺年齢測定
「はい！吸って吸って吸って～」



保健室、血管年齢と実年齢の
差がわかります。



「この器械はこうやって
使うんですよ。」



ちゃんとお腹の縫合
出来ましたか？



体力測定、運動不足
じゃないですか～



静脈が見えて注射が安全に！



がん細胞はどれですか？



薬剤師さんのお仕事体験や、
内視鏡手術の体験など熱心
に学んでましたね。

子どもさんも
楽しめるフェスタです

北海道がんセンターでは平成23年9月4日（日）、一般市民の皆さんにがん医療やがん予防などに関する知識を深めていただくため、また、【がん征圧月間】の取り組みの一環として「北海道がんと闘う医療フェスタ 2011」を北海道と共同で開催しました。

当フェスタは、外来ホールを中心とした会場でステージイベントやコーナーを設置して行い、今回は悪天候の中およそ600人ほどの来場者があり大変盛況となりました。

病院見学ツアー



最新の放射線治療機械を見学

内視鏡室では、直に操作を体験しました。



治療センターで設備を見て貰いました。白衣のガイドさんです。



AEDの使い方覚えて下さい。



あっという間に無くなってしまいました。美味しいと好評でしたよ。



技師さんの丁寧な説明に納得



釣り堀（おかし）わなげ。ポップコーンもありました。



アロマで癒されて下さい。



各科の紹介ポスターです。皆さんじっくり見てましたね。



開演と同時に沢山の方が見られました。

相談コーナー



治験について分かって頂けましたか？



睡眠時無呼吸についての相談に先生が親身に受けていましたよ。



薬剤師さんと真剣なお話し・・・



社会福祉士さんが相談にのってくれました。



道庁の～がん予防 できることから始めよう～ブース。パネル展示やリーフレットの配布、DVD上映など。特に乳がんの自己検診モデルの体験など、予防や早期発見の大切さを呼び掛けておりました。



患者会さんは同じ目線から相談にのってくれたりします。その他、各会の紹介やバザーなど大変盛況でした。



がん地域連携クリティカルパスについて



副院長 近藤 啓史

現在、がん対策基本法に基づくがん対策推進計画、がん診療連携拠点病院の指定要件などで、がんの地域連携クリティカルパス導入（連携パス）が求められています。今回はこの連携パスの進捗状況を説明したいと考えています。

がんの連携パスとは、手術などの治療を行った病院（がん診療連携拠点病院）と地域の一般医療機関（かかりつけ医）が同じ診療方針のもとに共同で、患者さんの治療に携わるために作成する「共同診療計画」です。病気の経過を予測して適切な診療計画を立て、患者さんに納得していただいたうえで医師・看護師・薬剤師などが協力して診療にあたることができます。また、診療方針や診療スケジュール、診療結果などを患者さんとがん診療連携拠点病院、かかりつけ医が共有することができます（図参照）。まず患者さんに趣旨の説明を行い同意が得られれば、地域の一般医療機関（今までのかかりつけ医あるいは新しいかかりつけ医）と提携して、かかりつけ医には日々の診療、薬の処方などをお願いして、がん診療連携拠点病院では節目の診療を行うというシステムです。その際、患者さんがもって歩く「私のカルテ」がその橋渡しをする重要な情報となります。

北海道では、がん診療連携拠点病院を中心とした北海道がん診療連携協議会に地域連携クリティカルパス部会を立ち上げ、まず五大がん（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、肝がん）についての連携パスを作成し、道内各地区での運用開始が始まっています。当院が所在する札幌市においても市内にあるがん診療連携拠点病院8病院の代表者が集まり今後の進め方などの検討を行いました。現在は、札幌市内の医療機関の皆様に対する説明会が終了。厚生局への施設基準の届出を済ませ、準備が整っています。

がんの連携パスの運用が本格的に開始され広く普及していくことにより、がん医療の質の向上、均てん化が図られ、今まで以上に密接な医療連携体制が構築されます。また、患者さんにとっても二人の主治医を持つことにより安心して医療が受けられるなどのメリットがあります。そのためには、がん診療連携拠点病院が互いに中心的役割を担っていくことはもちろんのこと、地域の一般医療機関（かかりつけ医）のみなさまのご協力と患者さんの連携パスに対するご理解が必要不可欠です。今後各方面のみなさまのご理解とご協力をいただき普及させたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

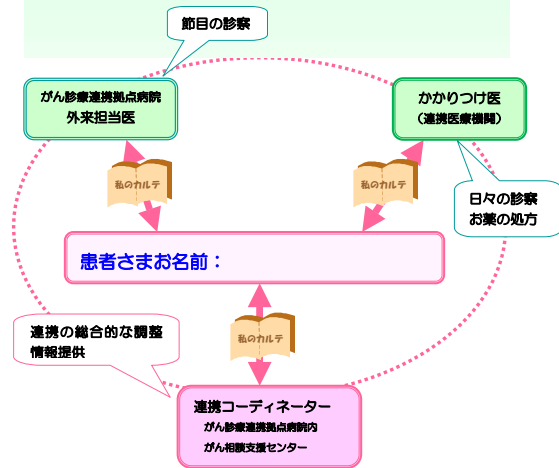
現在、準備の整った連携パスには以下のものがあります。

- ① 肝がん 入院治療後外来フォローパス
- ② 胃がん 術後フォローパス
術後補助化学療法パス（TS1内服）
- ③ 大腸がん 術後フォローパス
- ④ 肺がん 術後UFT内服パス
（術後フォローパス・・・準備中）
- ⑤ 乳がん 術後フォロー・補助化学療法パス

患者さま用

私のカルテ

SPR ver. 1.1 (2011)

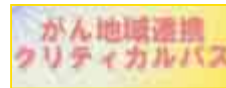


私のカルテ表紙。がん地域連携クリティカルパスを使って退院される患者さんにお持ちいただく手帳です。

図の通り、がん診療連携拠点病院と、かかりつけ医、連携コーディネーターが連携して患者さんの治療後を見守っていきます。

当院のホームページから、下のバナーをクリックするとがん地域連携クリティカルパスに関する情報を見ることが出来ます。

<http://www.sap-cc.go.jp> から



をクリックして下さい。

共同診療計画書 肺がん術後UFT内服パス(1~6ヵ月)

がん拠点病院：

お名前 _____ 様

かかりつけ医：

診療施設	がん拠点病院	がん拠点病院	かかりつけ医	がん拠点病院	かかりつけ医	かかりつけ医	がん拠点病院
受診日	内服前	1ヵ月目	2ヵ月目	3ヵ月目	4ヵ月目	5ヵ月目	6ヵ月目
達成目標	・UFT内服の必要性を理解する ・UFTの副作用の説明を受けた		・安全に内服できる	・再発がない	・安全に内服できる	・安全に内服できる	・再発がない
治療・薬剤	・投与量 (体表面積) ≥1.30㎡ → 400mg2x <1.30㎡ → 300mg3x ・服用開始 年 月 日		朝: _____ mg 昼: _____ mg 夕: _____ mg	朝: _____ mg 昼: _____ mg 夕: _____ mg	朝: _____ mg 昼: _____ mg 夕: _____ mg	朝: _____ mg 昼: _____ mg 夕: _____ mg	朝: _____ mg 昼: _____ mg 夕: _____ mg
検査	<input type="checkbox"/> 胸部X線写真 <input type="checkbox"/> 血液検査 *有意な腫瘍マーカー()	<input type="checkbox"/> 胸部X線写真 <input type="checkbox"/> 血液検査	<input type="checkbox"/> 血液検査	<input type="checkbox"/> 胸部X線写真 <input type="checkbox"/> 血液検査	<input type="checkbox"/> 血液検査	<input type="checkbox"/> 血液検査	<input type="checkbox"/> 胸部CTscan <input type="checkbox"/> 血液検査 <input type="checkbox"/> その他 ()
活動・安静度	制限ありません						
口内炎		有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
吐き気		有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
下痢		有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
食欲低下		有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
皮膚の異常		有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
倦怠感		有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
患者様及びご家族への説明 服薬指導 連絡事項 (余白記載)	<input type="checkbox"/> UFTの説明 <input type="checkbox"/> 薬剤師からのUFTの説明 <input type="checkbox"/> 薬剤師による併用薬の確認 <input type="checkbox"/> 治療同意書		<input type="checkbox"/> 副作用の確認 ・強い副作用症状の場合は病院主治医に連絡	<input type="checkbox"/> 副作用の確認 ・強い副作用症状の場合は病院主治医に連絡	<input type="checkbox"/> 副作用の確認 ・強い副作用症状の場合は病院主治医に連絡	<input type="checkbox"/> 副作用の確認 ・強い副作用症状の場合は病院主治医に連絡	

共同診療計画書（肺）他に胃・肝臓・大腸・乳腺があります。こちらも、ホームページから全ての計画書を見ることが出来ます。

メディカルセーフター事例分析研修会

医療安全管理係長 岡田 美 栄

北海道がんセンターでは地域医療連携施設との医療安全研修会を始めて、3年目となります。今年7月2日に田島英明先生（テプコシステムズ）のご支援により、メディカルセーフター（事故原因分析）をテーマに研修会を開催しました。土曜日にも関わらず、地域の医師・看護師・コメディカル・事務職の方々・当センター職員等80名が参加されました。加藤医療安全推進部会長の挨拶の後、講師より「安全な医療の基本的な考え方」や分析手法の講義を受けました。その中でヒューマンエラーは結果であり、要因ではない。なぜエラーは起きたのか、その事故の構造を明らかにして、対策を講じる事が重要と強調されていました。

午後からは、熱心なグループワークが行われ、施設間の情報交換も図られたようです。「演習も行き、解りやすかった。」との意見が大半をしめました。

安全管理者として、この分析手法は、エラーが起きた結果「患者さんはどうであったか」を第1に捉え、エラー要因を考える過程で、事故防止の「視点」が育つツールだと考えます。「分析に時間を要するため不安」という意見もありましたが、繰り返し分析を重ねることで、事例を読み解く力がつき、時間も短縮できると実感しています。多職種で事例を共有し、要因への対策をすることが事故防止への第1歩であると考えます。

医療者向けの内容になりましたが、分析では「患者さんが登場人物」になります。患者さんも共に安全な医療に向けた協同者として考えて行きます。その上で医療者の説明が患者さんの理解や協力が得られる内容であったかを評価する機会となります。

今後も地域医療機関との連携をとりながら、安全に向けた医療が行われるよう、メディカルセーフター事例分析手法が幅広く活用されることを期待し、活動を継続したいと考えています。



田島先生による講評



背後要因「行動」「判断」を説明



グループ討議

10月1日より
医療安全管理
係長は、
坂本 美和子に
交替しました。



栄養管理室の取り組み



病棟イベント♪ 「デザートの日」



このイベントは5年前、血液内科や腫瘍整形外科などの入院患者さんを対象に、入院生活のささやかな楽しみとなるようなイベントを行いたいとの思いではじまったものでした。

今年度は、多くの患者さんに楽しんでいただきたく、今まで開催したことがなかった消化器内科や消化器外科を含む全ての病棟で開催しました。

デザートのメニューは、ケーキ、ムース、シャーベット、水まんじゅうなど、季節のデザートを4種類揃え、患者さんのお好きなものを2種類選んでいただきました。回を重ねる毎に、患者

さんに協力していただいたアンケートを基にして、メニューに果物を加え、ケーキの種類を変更するなど、より一層患者さんに喜んでいただけるものになったのではないかと思います。今回揃えたデザートの中では、特に洋なしのケーキ、水まんじゅうの人气があり、甘さを抑えたデザートが好まれたように思います。

イベントを行う中で「毎週あっても良いね!」「治療の励みになる」など、沢山の喜びの声を聞くことが出来て、大変嬉しく思っています。

今年度の「デザートの日」のイベントは終了しましたが、今後は、食事のメニューに旬のデザートを加えるなど、献立の中で工夫をしていきたいと思っていますので、お楽しみにしてください。



栄養士
大宮 志寿加



5A・B 病棟



7F 病棟



1番人気の洋なしのケーキ



ダイルーム



案内

がん相談支援情報室にご相談下さい

「がんと診断されてこれからのことが不安」

「退院後の生活はどうしたらよいか」

「ホスピスへの転院をすすめられたが、どうしたらよいか」

「がんの治療にかかる医療費や生活費のことが心配」など

患者さんご本人やご家族は、様々な不安や悩みをかかえていらっしゃると思います。

北海道がんセンターでは、がん患者さんやご家族の不安や悩みに対応するために「がん相談支援情報室」を設置しています。

看護師や医療ソーシャルワーカーが皆様のお話を伺い、問題解決のお手伝いをさせていただきます。どうぞお気軽にご相談下さい。

ご相談は、がん相談支援情報室に直接お越しいただく方法と、電話でお話を伺う方法があります。



「がん相談支援情報室」

この大きな掲示板が目印です。
9月から新しく設置しました。がん診療連携拠点病院の意義・役割についてお知らせしていますので、ぜひ一度ごらんになって下さい。



面談室での相談 ・ 電話相談（無料）

受付時間：9時00分～17時00分（土・日・祝を除く）

場 所：1階正面玄関入って右側

電話番号：(011) 811-9118（直通）

相談内容の秘密は厳守致します



副看護師長
佐々木 由紀子

新しい相談員の紹介

10月より、がん相談支援情報室に異動となりました看護師の佐々木由紀子です。緩和ケア認定看護師の資格を持ち、当院では呼吸器内科病棟と緩和ケアチームで活動しておりました。

これまでの看護師経験では未知の部署での仕事となります。毎日、慣れない仕事に戸惑い緊張しながら仕事をしております。今は、患者さんとお話ししている時が一番落ち着いている自分を感じています。病気の事など何かお困りのことがございましたら、どうぞお気軽に声をかけてください。

診療科別外来担当医師一覧

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
消化器内科		高橋 康雄 中村とき子	佐藤 康裕 (午前)藤川 幸司	藤川 幸司 堀口 拓人	高橋 康雄 (午前)佐川 保	佐川 保 (午前)佐藤 康裕	
呼吸器内科	初診	原田 眞雄	中野 浩輔	北井 秀典	原田 眞雄	福元 伸一	禁煙外来 毎週火PM要予約
	再診	中野 浩輔	福元 伸一	中野 浩輔	福元 伸一	原田 眞雄	
血液内科	初診	米積 昌克	米積 昌克	早瀬 英子	黒澤 光俊	鈴木左知子	
	再診	鈴木左知子	黒澤 光俊	米積 昌克	鈴木左知子	黒澤 光俊	
循環器内科		井上 仁喜 山本 清二	竹中 孝 山本 清二	井上 仁喜 山本 清二	竹中 孝 山本 清二	井上 仁喜 山本 清二	
緩和ケア内科		岩波 悦勝 松山 哲晃	岩波 悦勝 松山 哲晃	岩波 悦勝 松山 哲晃	岩波 悦勝 松山 哲晃	岩波 悦勝 松山 哲晃	
精神保健科		(休診)	(休診)	(休診)	(休診)	(休診)	
消化器外科		濱田 朋倫	濱口 純 二川 憲昭	濱田 朋倫	前田 好章	篠原 敏樹	ストーマ外来 毎週水PM要予約
乳腺外科		高橋 将人 市川 伸樹	渡邊 健一 上徳ひろみ	渡邊 健一 市川 伸樹	高橋 将人 上徳ひろみ	高橋 将人 渡邊 健一 上徳ひろみ	乳がん検診 毎週金PM 要予約
呼吸器外科		安達 大史 近藤 啓史		近藤 啓史 安達/有倉	有倉 潤 近藤 啓史		
腫瘍整形外科	初診	小山内俊久	手術日につき 予約のみ	井須 和男	平賀 博明 小山内俊久	井須 和男	
	再診	平賀 博明		小山内俊久	(初診のみ、10:30~)		
皮膚科		桑田 依子	桑田 依子	桑田 依子	桑田 依子	桑田 依子	
泌尿器科		永森 聡 安住 誠	原林 透 安住 誠	三浪 圭太 大石悠一郎	永森 聡 大石悠一郎	原林 透 三浪 圭太	前立腺がん検診 (PSA検診) 毎週水PM要予約
婦人科		明石 大輔	岡元 一平	藤堂 幸治 (午後)河口 哲	見延進一郎	加藤 秀則 (午後)大場 洋子	婦人科検診 毎週水金PM要予約
眼科		水本 博之	水本 博之	水本 博之	水本 博之	水本 博之	
頭頸部外科		永橋 立望 瀧 重成 洲崎 真吾	永橋 立望 瀧 重成	手術日につき 予約のみ 瀧 重成	永橋 立望 洲崎 真吾	永橋 立望 瀧 重成 洲崎 真吾	
		西山 典明 森 崇	西尾 正道 藤野 賢治 森 崇	市村 亘 田中 七 (予約)	藤野 賢治 森 崇	西山 典明 溝口 史樹	
脳神経外科		伊林 至洋	杉野/鈴木	伊林 至洋		伊林 至洋	
心臓血管外科						石橋 義光	
形成外科		皆川 英彦 齋藤 亮 (13:30~16:00)	皆川 英彦 齋藤 亮 (13:30~16:00)			皆川 英彦 齋藤 亮 (8:30~11:00)	
がん何でも相談外来		西尾 正道 (10:00~11:30)					毎週月要予約

※ 受付時間は、平日午前8時30分から午前11時までです。(土曜日・日曜日・祝日は休診です。)
 ※ 2科以上受診を希望される方は午前10時までの受付となりますのでご了承ください。
 ※ 都合により代診となる場合がありますのでご了承ください。

平成23年10月 1日

ボランティアコンサートについて

平成23年度2回目のボランティアコンサートを7月22日(金)外来ホールにて、「アルパ(ハーブ)演奏会」を15時より開催しました。アルパとは、パラグアイ・ペルー・メキシコ・ベネズエラで用いられる民族的な楽器で、ラテンハーブ、インディアンハーブと呼ばれているものです。始めに演奏者の村上氏からプロフィールと楽器について話があり、演奏が行われました。聞き慣れない楽器の演奏ということもあり、外来ホールは患者さんで埋まり、皆さんがハーブの音色に聞き惚れていました。演奏も「知床旅情」「コーヒールンバ」の懐かしい曲になると外来ホール全体での合唱となり、大いに盛り上がりコンサートを終了しました。演奏が終わり、片付けをしている時に数名の患者さんがみえ、「今日は良い音色を聞いて、癒されました。」と村上氏に語りかけておりました。

この場をお借りしまして出演された方々に、深く感謝申し上げます。



平成23年度3回目のボランティアコンサートを8月26日(金)外来ホールにて、「YUNAさんのピアノ弾き語り」を15時より開催しました。YUNAさんのピアノ弾き語りは、昨年5月にも実施しており、2回目ということもあって和気藹々という雰囲気で始まりました。声の伸びや音量がすごく、外来ホールに素晴らしい歌声が響きました。YUNAさん自身も過去に心の病気になる、何度か入院して大変だったけれども、立ち直るのに自分自身が大好きであった音楽を行うことによって数年かかって完治したとの話をした際には、集まった患者さんもうなずいておられました。最後の曲が終わるとお約束のアンコールがあり、盛況で終了することが出来ました。患者さんからは、「このコンサートで癒されました」とか「機会があれば再度開催して欲しい」との声が出ておりました。

この場をお借りしまして出演された方々に、深く感謝申し上げます。



独立行政法人 国立病院機構
北海道がんセンター
 北海道がん診療連携拠点病院

〒003-0804
 北海道札幌市白石区菊水4条2丁目3-54
 代表 TEL (011) 811-9111
 FAX (011) 832-0652
 ホームページ <http://www.sap-cc.org/>

● 相談窓口

がん相談支援情報室

直通電話 (011) 811-9118

医療連携室

直通電話 (011) 811-9117

直通FAX (011) 811-9110

メールアドレス hyoshida@sap-cc.go.jp

交通のご案内



【地下鉄】 地下鉄東西線「菊水駅」下車、3番出口より徒歩3分

【自動車】 駐車場につきましては数に限りがありますので、できるだけ、公共の交通機関をご利用下さい。